

# 社会調査法 第7回

## パソコンの活用 量的調査の分析

### 1. 社会福祉調査での、パソコン・インターネットの活用

#### (1) インターネットでの検索

- ・インターネットエクスプローラの立ち上げ
- ・Google検索
- ・検索キーワードの入れ方  
「高齢者 福祉 調査報告書」など、しぼり込めるように
- ・Wiki利用の注意
- ・信頼できるデータの選び方

\* 引用するときは、URLと日時を明記する

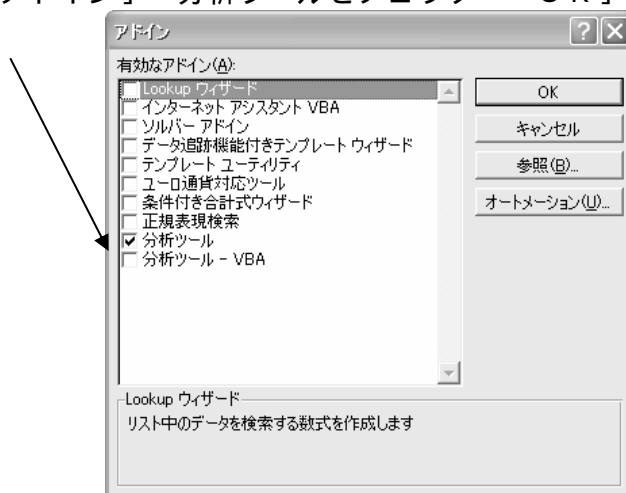
例：名古屋市ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/siryu.html> 2010年5月10日閲覧

### 2. エクセルの活用

#### 大学生の性別と身長には関係はあるでしょうか？ 性別とバイト時間はどうでしょうか？

#### (1) エクセルの立ち上げ ぶんせき 分析ツールのインストール

「ツール」 - 「アドイン」 - 分析ツールをチェック - 「OK」をクリック



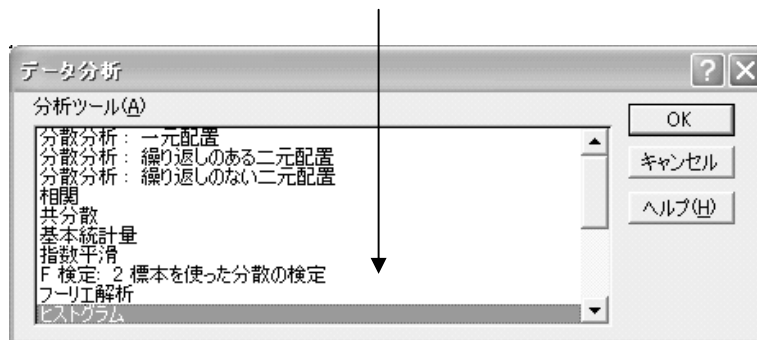
(2) 表を作成

身長を分ける区間も入力

	A	B	C	D	E	F	身長区間
1	NO	①性別	②身長	③今アルバイト	④アルバイトをしている場合 月の時間		
2	1	2男性	161	2	30		150
3	2	2男性	174	2	80		155
4	3	2男性	166	3			160
5	4	2男性	160	3			165
6	5	1女性	167	1	130		170
7	6	2男性	172	2	90		175
8	7	1女性	156	2	75		180
9	8	2男性	170	3			
10	9	2男性	175	2	55		
11	10	2男性	178	3			
12	11	1女性	152	1	80		
13	12	1女性	160	2	30		
14	13	1女性	158	2	10		
15	14	2男性	172	2	10		
16				1	いつもやる		
17				2	時々やる		
18				3	やらない		

(3) ヒストグラムの作成

「ツール」 - 「分析ツール」 - 「ヒストグラム」



「入力範囲」 身長データの範囲

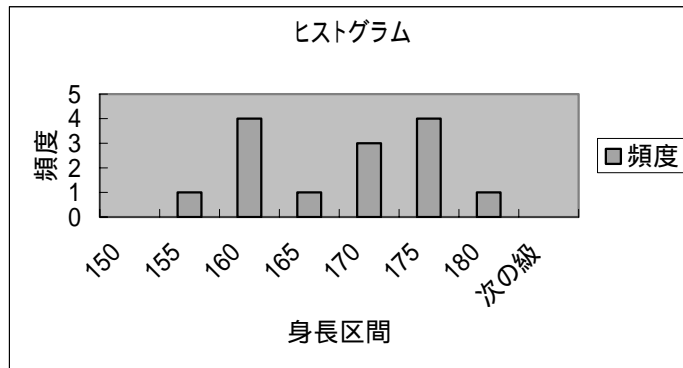
「データ区間」 C20:C24

「グラフ作成」を選択



度数分布表とグラフ（ヒストグラム）ができる

身長区間	頻度
150	0
155	1
160	4
165	1
170	3
175	4
180	1
次の級	0

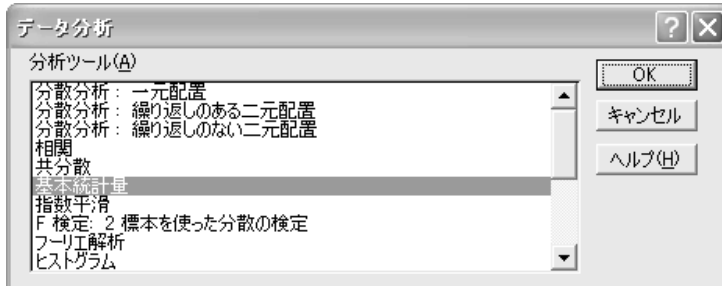


基本統計量の表示

Excel で、基本統計量(記述統計量)をだしてみましよう。

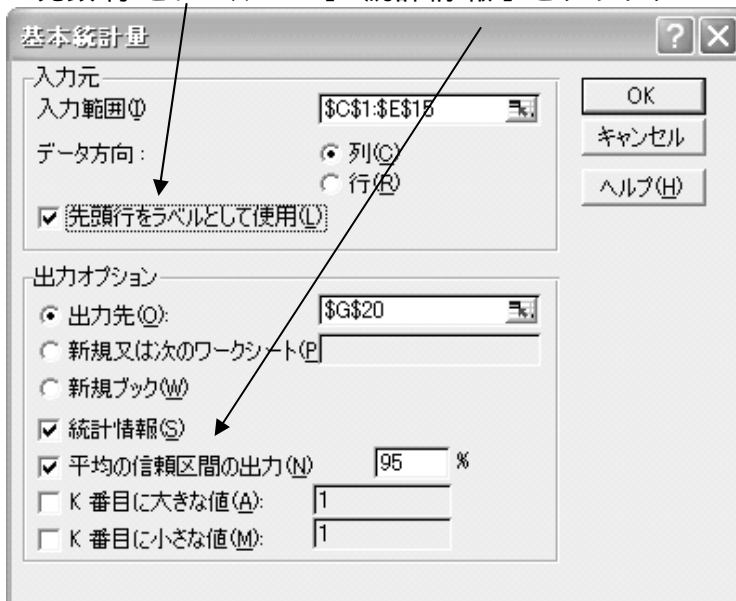
この場合の「記述」は質的調査などの「記述」と意味が違う。  
 社会調査で同じ言葉や似た言葉で複数の意味があるので注意

メニュー「ツール」をクリック、「分析ツール」を選び、「基本統計量」をクリック



「入力範囲」、「出力先」を指定

「先頭行をラベル・・・」、「統計情報」をクリック



平均、標準偏差、最小、最大などが表示されます。

身長	アルバイトをしている場合	
平均	165.79	平均 59.00
標準誤差	2.14	標準誤差 12.31
中央値 (メジアン)	166.5	中央値 (メジアン) 65
最頻値 (モード)	160	最頻値 (モード) 30
標準偏差	8.01	標準偏差 38.93
分散	64.18	分散 1,515.56
尖度	-1.20	尖度 -0.56
歪度	-0.14	歪度 0.30
範囲	26	範囲 120
最小	152	最小 10
最大	178	最大 130
合計	2321	合計 590
標本数	14	標本数 10
信頼区間(95.0%)	4.63	信頼区間(95.0%) 27.85

・基本統計量の表示

平均
最大
最小
中央値 (median メジアン / メディア)
最頻値 (mode モード)
分散
標準偏差
尖度 (とんがっているか)
歪度 (ゆがんでいるか)

(5) クロス集計 ピボットテーブルで男女別集計を行う

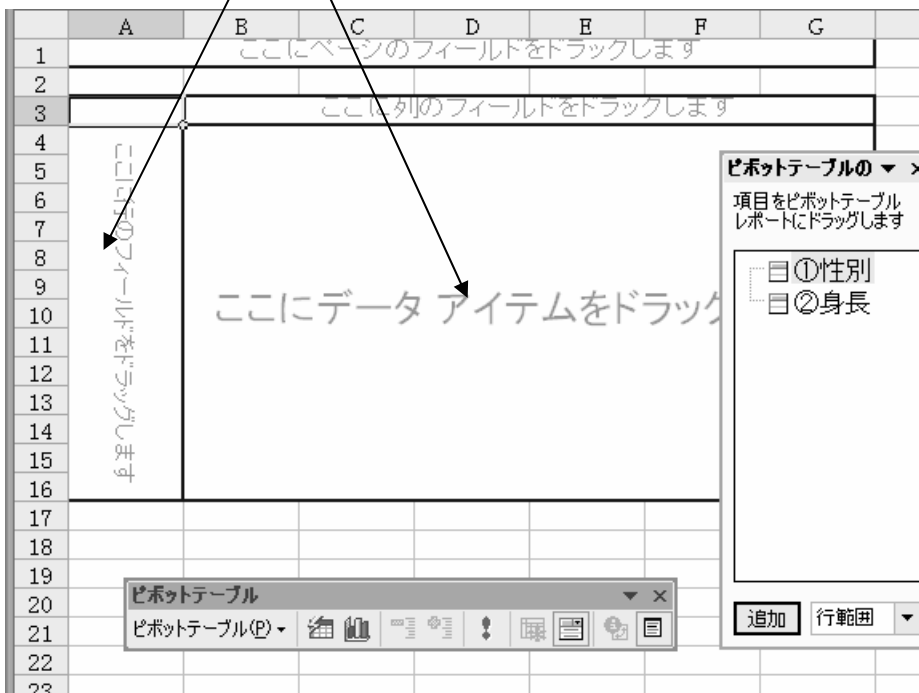
クロス集計が簡単にできるピボットテーブルを使ってみましょう。

「データ」 - 「ピボットテーブルとピボットグラフレポート」を選択

入力範囲 (ここでは性別と身長) と出力場所 (新規ワークシート) を指定

表側 (表の横) に「性別」をドラッグ

表中に「身長」をドラッグ



身長の見出しをダブルクリック、身長の「平均」にする



結果 男女別の平均が表示される

平均 / 身長	
性別	合計
1女性	158.600
2男性	169.778
総計	165.786